

「第3回 高校生の科学研究発表会@茨城大学」を開催しました。

2013年（平成25年）1月12日（土）午前9:30から午後4:30まで、茨城大学水戸キャンパス（人文学部講義棟）を会場に、「第3回 高校生の科学研究発表会@茨城大学」を開催いたしました。演題数も参加者数も年々増加し、今回の発表会でも前回は大幅に上回って300名を超える（うち高校生250名）の参加があり、過密スケジュールの中ではありますが、口頭発表39演題、ポスター発表24演題の合計63演題の発表について、大学教員や参加高校生との活発な議論が展開されました。

いずれの演題も、高校生の皆さんの努力と、指導されている先生方のご尽力が感じられる発表でした。地域の問題解決に取り組む研究、大学の卒業研究のように高度な分析機器を使った研究、本当に科学が好きという気持ちが生み出した研究など、今後の展開が非常に楽しみな発表が多くあり、理学部長はじめスタッフ一同、高校生の皆さんの熱意にたいへん感銘を受けました。

力作揃いで審査は非常に難しい状況でしたが、閉会式で下記の演題を表彰いたしました。

優秀発表賞

「茨城県産花崗岩の分類と含有するレアアースの関係について」

小野哲矢、黒澤彰仁、佐伯涼平、小田喜雅彦（私立水城高等学校）

「逆ミセル法により合成したナノクリスタル蛍光体に関する研究」

鈴木佳太、北村 峻、郡 涼太（茨城県立水戸第一高等学校）

「龍ヶ崎市防災計画 ー数理モデルによるスピーカー配置の最適化ー」

櫻井崇史、長谷川稜馬、張替仁人、風見沙依、佐藤みさき
（茨城県立竜ヶ崎第一高等学校）

「分子軌道法を用いたシクロアルカンの分子構造と融点との関係」

今村優吾（茨城県立水戸第一高等学校）

「龍ヶ崎市民の利便性を考えたコンビニ配置に関する考察」

桶屋誠人、小又暉広、友野嵩也、高橋るみ子、宮本桃世
（茨城県立竜ヶ崎第一高等学校）



理学部長の挨拶

ポスター賞

「なぜ日本の酪農家はバイオガス発電をはじめないのか」

佐川貴哉、飯塚浩市、小堀智幸
（茨城県立中央高等学校）

「自走する油滴」

猪瀬 悠、金 理恵、福田陽奈乃、福地早希
（茨城県立水戸第二高等学校）



第2会場での発表風景



いばらき総文祭「ふれあちゃん」と記念撮影